

## 第4回 部会検討結果報告書（行財政運営部会）

記録者	上野 絃美	場所	府中駅北第2庁舎3階会議室	
開催日時	令和2年10月3日（土）午前10時00分～12時00分			
出席者	鹿野 恭佑	小西 信生	西郷 昌高	瀬戸 慎也
（8名）	隆 宗男	二階堂 麻美	大石 直美	上野 絃美

基本施策名	5-4 健全財政による持続可能な市政運営
内容	別紙：見直し論点シートのとおり
その他	<p>昨今の風水害の状況に鑑み、公助ももちろん大切だが、公設以外の避難場所を想定する共助の取組も広がっている。共助の取組を支えられるような施策があるとよい。</p> <p>歳入確保の視点では、最近注目されるマイクロツーリズムの視点も取り入れ、近場で魅力を発見していくことで、府中の活性化につながられたらよいと思う。</p> <p>府中市の公共施設の構造などを見て、無駄にエネルギーが消費されているように思えるものがある。効率的な市政運営を目指すためにも、省エネルギーという視点を様々な施策に取り入れていく必要がある。</p> <p>指標について、現計画で「ゼロ」や「100」といった極端な目標が掲げられているため、次の計画では現実的で根拠のある指標にしたほうがよい。</p>

# 見直し論点シート

番号	基本施策名	主担当部	主担当課	関係課
5-4	健全財政による持続可能な市政運営	政策総務部	財政課	政策課

ver 情報

## ア. 第6次総合計画後期基本計画の進捗状況

基本施策全体の進捗状況	平均値	施策名	進捗状況	施策名	進捗状況
目標達成に向けて順調	3.0	持続可能な財政運営	3：目標達成に向けて順調		

## イ. これまでに（第6次総合計画期間に）得られた成果・残された課題

主な取組と成果	<p>【持続可能な財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市税において、適正な課税に努めるとともに、収納についても収納率向上基本計画に基づき現年課税分の収納率の向上に努めた結果、平成29年度は98.1%、平成30年度は98.4%と収納率が向上した。（令和3年度目標値98.5%）</li> <li>平成30年度における経常収支比率については、目標値の80%台を維持し、実質公債費比率についても目標値である8.0%以下を保っている。</li> <li>受益者負担適正化事務については、「手数料・使用料の見直しに関する基本方針」に基づき使用料の改定を行ったほか、「手数料・使用料の見直しに関する基本方針（改定）」及び「公の施設における駐車施設の有料化に係る考え方」を策定し、受益者負担の適正化を図ることに寄与した。</li> <li>事務事業点検対象事業及び行財政改革推進プランの進行管理や引き続き事務事業評価を行い、事務事業の見直し等、適正化に努めた。</li> </ul>
残された課題	<p>【持続可能な財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手数料及び使用料について、基準手数料及び基準使用料の算定により、受益者負担の適正化が図られているか継続的に精査を行う必要がある。なお、有料化の対象となっている駐車施設については着実に有料化を進める。</li> <li>ふるさと寄附金については、地域特性を踏まえた返礼品の活用等により増加傾向にあるが、更なる歳入の確保に向けた返礼品の充実や環境の整備が必要である。加えて、クラウドファンディング等の新たな手法についても検討を進める必要がある。</li> <li>高齢者率・介護認定率ともに上昇している。</li> </ul>

## ウ. 今後、予想される新たなニーズ・課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>生産年齢人口の減により歳入増が見込めない中、歳出では、老年人口の増による扶助費や繰出金などの増加や公共施設の老朽化への対応も迫られていることから、引き続き、歳入に見合った歳出となるよう健全な財政運営を行う。</li> </ul>
---

## エ. 次期総合計画策定に向けた見直しの論点

<p>【持続可能な財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き行政評価を実施し、行財政改革推進プランに基づく各種取組を行い、事務事業の見直し、適正化、効率化に努める。</li> <li>行政評価と総合計画の進行管理との関係を整理し、効果的な制度構築を図る。</li> <li>府中ならではの地域特性を踏まえた返礼品のさらなる充実や目的を特定した寄附金の拡充などに努める。</li> <li>生産年齢人口減による歳入減に対し、空家の利活用や家賃補助など人口維持・増加（特に若年層）につながる施策を検討できないか。</li> <li>購買を促進する施策や、要介護者を減らし高齢者福祉費を合理的に落とせるように健康に関する施策を検討できないか。</li> </ul>
---

## オ. 協働の実践に向けて

<p>【持続可能な財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価の結果や行革推進プランの内容を市民に分かりやすい形で公表するなど、職員・市民のコストに対する意識の向上に努める。</li> <li>ふるさと寄附金の返礼品について、市内企業等が市に対して提案を行う。</li> <li>ふるさと寄附金は、市民会議で情報収集をするなど返礼品の候補を増やせないか。併せて、より一層のPRが必要とされる。</li> </ul>
--

## カ. 第6次総合計画（基本構想）における「めざすまちの姿」の見直し

「めざすまちの姿」	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の理解の下、課題を先延ばしせず、スピード感を持って多角的視点から歳入確保、歳出削減に取り組み、中長期的な視点に立った健全で持続可能な財政運営ができています。</li> </ul>
見直しの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の歳入確保策にとらわれず、多角的な視点から、歳入の増加を目指すため</li> </ul>